

岐阜県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 6 名

立候補者数 : 6 名



氏名 和田 範文

都道府県士会 岐阜県

年齢 52

勤務先名称 岐北厚生病院



氏名 河合 克尚

都道府県士会 岐阜県

年齢 40

勤務先名称 平成医療短期大学

協会・士会役員歴

1998～2004年 岐阜県理学療法士会 広報部長
2008年～ 岐阜県理学療法士会 理事兼学術局長
2011年～ 日本理学療法士協会 代議員

協会・士会役員歴

平成19年6月～平成22年5月 (社)岐阜県理学療法士会 財務部長
平成24年6月～平成25年3月 (社)岐阜県理学療法士会 監事
平成25年4月～平成29年5月 (公社)岐阜県理学療法士会 監事
平成29年6月～現在に至る (公社)岐阜県理学療法士会 理事

立候補の趣旨

日本理学療法士協会は、学術・職能および政治力も高めて飛躍的に発展してきている。しかし若い会員が多いためか、その存在価値に魅力を実感できず協会を離れる会員も多いのが現状である。理学療法士という職業が広く一般社会に認知されるように会員と協会との橋渡しを引く続き担いたい。

立候補の趣旨

理学療法士を取り巻く環境に変化を感じざるを得なく、今後はそうした変化の中で社会からの信頼を高め活躍の場を得るかは、理学療法士の質の向上が課題であると考え。そのためには、臨床実習前教育および臨床実習の検討、認定・専門理学療法士制度の強化、理学療法士キャリアデザインが多様化、少子社会における理学療法士業務の検討等が、本会の今後の主要な業務と考えている。また、これらの業務を速やかに確実に進めるためには協会と都道府県士会の連携および役割分担を強化し、都道府県士会の活力を上げる組織運営も必要と考えている。理学療法士を取り巻く環境の変化にしっかりと向き合いながら職務を果たす決意である。



氏名 村雲 憲

都道府県士会 岐阜県

年齢 49

勤務先名称 東可児病院

協会・士会役員歴

平成22年度より、日本理学療法士協会代議員
平成25年度より、岐阜県理学療法士会理事

立候補の趣旨

私達、理学療法士を取り巻く環境は、現在、決して平坦ではありません。今年4月の医療・介護の同時改定や地域包括ケアへの対応、2025年問題等、懸案事項は、積算しています。このような現状の中で、将来、理学療法士が社会の信頼を得て活躍していくためには、今の基盤作りが重要だと思います。私は、代議員として、協会と県士会の橋渡し役となり、微力ながら、理学療法の発展に寄与したいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



氏名 山下 恒彦

都道府県士会 岐阜県

年齢 49

勤務先名称 多治見市民病院

協会・士会役員歴

平成16年～平成23年 岐阜県理学療法士会生涯学習部長
平成24年～平成28年 岐阜県理学療法士会理事・事務局長
平成29年～ 岐阜県理学療法士会理事

立候補の趣旨

平成16年より岐阜県理学療法士会の役員として士会業務に携わり、平成24年より理事・事務局長として県士会の公益法人化にも関与いたしました。現在も理事として在籍しておりますが、今までの経験を生かし県士会及び会員の意見を日本理学療法士協会へ届けたいと考えます。



氏名 原 司

都道府県士会 岐阜県

年齢 36

勤務先名称 特別養護老人ホームシクラメン

協会・士会役員歴

【（公社）岐阜県理学療法士会活動】

平成27年度～平成28年度 東濃支部長
平成29年度～ 理事・支部局長

【（公社）日本理学療法士協会活動】

平成26年度～ 代議員
平成28年度 組織・規則等検証ワーキンググループ委員

立候補の趣旨

私は介護保険施設で勤務し地域で活動する中、行政や他団体との関わりの重要性を学んできました。地域における理学療法士の活動が広がっている中、「地域の中で理学療法士のすべき役割はまだある」と確信しております。制度的な問題も少なからずございますが、病院・施設内、理学療法士間のみといった閉鎖的な活動ではなく、多職種連携、さらなる役割の拡大に向けて努力していかなくてはならないと考えます。また協会は、短期間で会員数が増加し20歳・30歳代の若い団体であり、新人理学療法士への教育が重要です。その教育において特に、理学療法技術向上といった学術教育はもちろんのことですが、社会における理学療法士の役割等について考える職能教育、協会に新人理学療法士が参画できる教育が重要であると考えます。

若い理学療法士が急増する中、理学療法士として誇り・やりがいをもって働くため、協会が「変化する社会」に柔軟に対応できる組織、そして新人理学療法士一人ひとりが将来を考え自ら行動できる組織であることを目指し、私たち中堅理学療法士が次世代の理学療法士に対しシームレスな橋渡しができるよう微力ながら努力していきたいと考えております。



氏名 小池 孝康

都道府県士会 岐阜県

年齢 35

勤務先名称 岐阜保健短期大学リハビリテーション学科

協会・士会役員歴

平成27年度～平成28年度 公益社団法人岐阜県理学療法士会 教育部長
平成29年度～現在 公益社団法人岐阜県理学療法士会 理事・学術局長

立候補の趣旨

私は、これまで岐阜県理学療法士会（士会）の中で、主に会員の学術に関わる事業を担ってまいりました。これまでの経験を通して私が感じたことは、現在の（公社）日本理学療法士協会（協会）および士会は大きな変革期にあり、我々は目まぐるしいほどの変化に適応していかなければならないという事です。

平成33年度に導入される新生涯学習システムをはじめ、地域包括ケアシステム、協会指定管理者制度など、求められる時代の流れに適応すべく様々な施策が打ち出され、また今後も著しく変化していく事でしょう。

今回私が代議員選挙に立候補した理由は、協会が打ち出す施策に対し士会員が情報を得て適応でき、また士会員の声を正しく協会へ届けられるように、代表者として意思決定の場に関わりたいと考えたからです。

近年、理学療法士を取り巻く環境は大きく変わっています。会員数は急激に増加し、若い会員が多数を占めるヒエラルキーを構成しています。今後、会員一人一人の顔が見えづらく、声が聞こえづらい組織では、協会・士会は様々な課題を抱えていくことが懸念されます。このような環境の中で、理学療法士の平均世代の私は、協会の意思を士会員に伝え、若い士会員の声を協会へ伝えていく橋渡しができると思っております。

ステークホルダーを大切に作る組織はより強固です。今後の理学療法士がより良い環境で職務を全うできるよう、協会と士会員の声を円滑に橋渡しする役として、すみずみまで顔が見え、声が聞こえる組織作りに貢献していきたいと考えております。応援のほど、何卒よろしくお願い致します。